

スイス地下貨物法等について

スイス地下貨物法について

地下貨物法(Bundesgesetz über den unterirdischen Gütertransport (UGüTG))2021年12月成立(2022年8月施行)

○概要

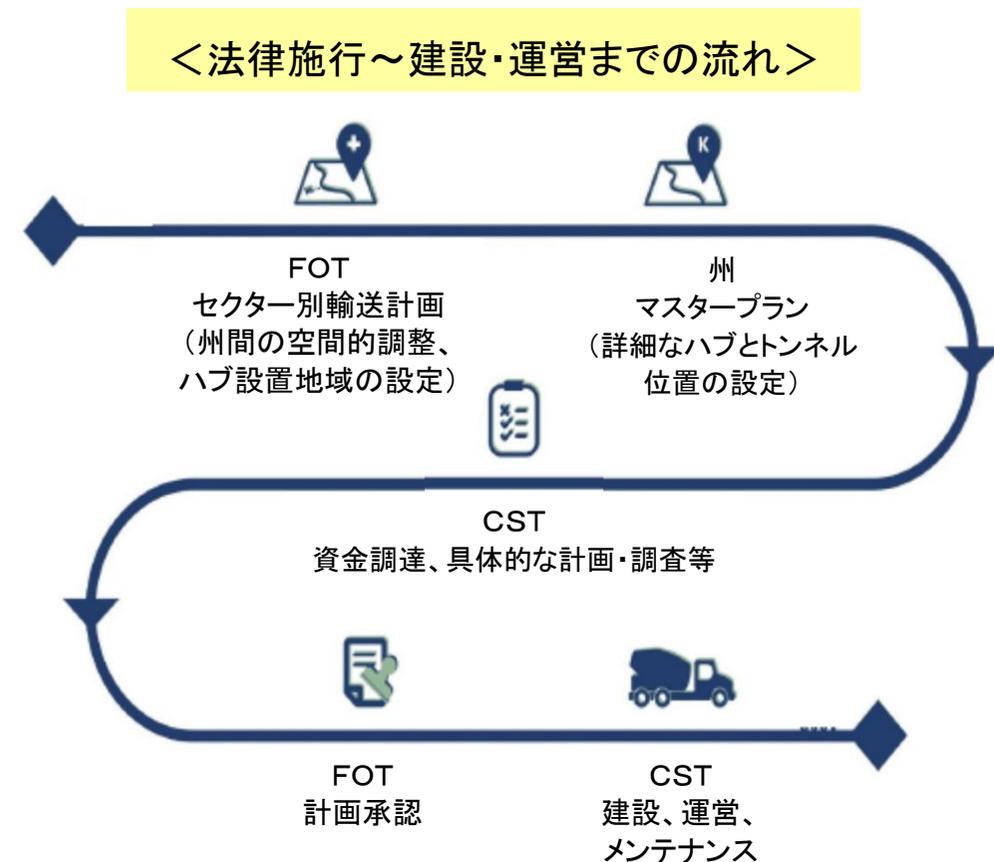
- ・貨物の地下輸送のための都市間施設の建設・運営やこれらの施設での車両の運行を規制
- ・提供される輸送サービスは顧客に対して差別をしてはいけないことや民間主導で民間資金により実施されなければならないことを規定
- ・地下輸送は、スイスの物資輸送の持続可能な発展に貢献し、特に都市部の物流について効率的な環境に優しいものにする必要がある
- ・必要な土地が取得できない場合は収用が可能

○計画承認手続

- ・地下輸送の施設とそれに直結する施設について、統一的な計画承認手続を提供(鉄道法に基づく手続に準拠)
- ・承認は、スイス連邦運輸省(FOT)が行う。承認の要件は、①安全や、空間計画及び環境・自然・文化遺産保護に関する連邦規定と整合していること、②実施主体が財政的に実行可能なこと
- ・承認にあたって、FOTは関係州に意見聴取を行う

○計画承認後の責務

- ・実施企業(CST社)は、施設の安全な建設と運用、車両の安全な運用に責任を負う。特別な事故が発生した場合は、直ちにスイス連邦運輸省に報告する
- ・スイス連邦運輸省は、実施企業による建設・運用等を監視し、建設・運営等により人や物の安全が脅かされるおそれがあるときは、必要な措置を講ずることや施設や車両の運行を制限・禁止する



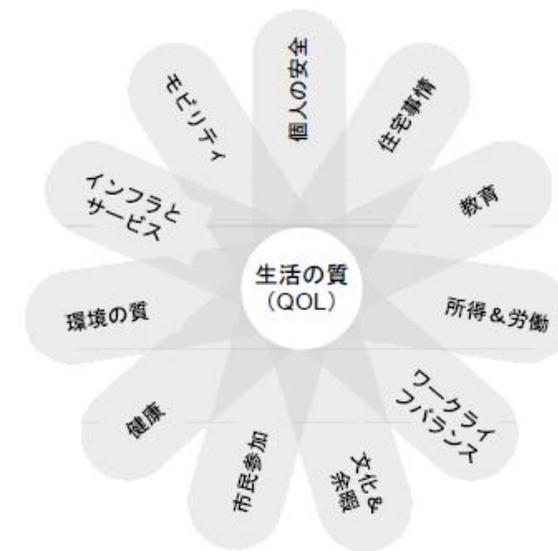
スイス地下貨物輸送の目的・効果について

<背景>

- ・スイスの人口: 850万人(2017年)→950万人(2030年)に増加が予測されている
- ・貨物輸送量: 約40%増加(2010年→2040年)が予測されている(貨物輸送量(トン)及び輸送トンキロ)
- ・現在の交通ルートだけでは、増加に対応できない
- ・国内貨物の約63%が道路輸送、約37%が鉄道輸送となっており、モーダルシフトを進めている

<目的>

- ・未来のデジタルロジスティクスの方角性の第1歩を示し、陸上輸送ルートの負担を軽減し、エネルギー革命をサポート
- ・高い生活の質として、交通量の削減、CO2排出量の削減、景観保護等を目指す
- ・持続可能で、ジャストインタイムデリバリーと小口配送を可能とする



<効果>



環境保護

- ・人と環境への負荷軽減(排出ガス、騒音、安全性)
- ・土地利用の削減
- ・他の将来の輸送シナリオと比較して環境親和的



道路の負荷の緩和

- ・大型貨物交通を40%移転
- ・ハブ及び都市における配送交通の削減(最大30%)
- ・道路利用の削減(修繕、ダストの削減)



騒音削減

- ・騒音を半減
- ・都市ロジスティクスを通じた都市の著しい負荷軽減



経済性

- ・収益性のある投資
- ・国民経済的便益
- ・輸出可能性のある技術
- ・効率的端末配送